

第 49 回 SATOU フォーラム

第 32 回から新会場（八重洲）です。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> （右 QR コード）

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

（過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます）



記

日時：2025 年 6 月 10 日（火） 16：00～19：00（受付開始は 15：50 より）

会場：イオンコンパス東京八重洲会議室 RoomC

中央区京橋 1－1－6 越前屋ビル 4 階

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。

（FAX 又は PDF にてメールで送付ください。）

- 15：50～16：00 受付
- 16：00～16：15 会員情報発信
- 16：15～18：00 [講演] （質疑応答時間含む）

「〃伐って、使って、植えて、育てる、まさに循環型ビジネスモデルを実践しているのが、今回の住友林業株だ。森林事業を環境産業と捉え、国内外の多彩な分野で果敢に事業を展開中。その現況と今後の展望は？」

同社の誕生自体が、そもそも住友の別子銅山（四国）の製錬時に発生する煙害対策用の植林事業に端を発する。「環境保護」の DNA は生来のホンモノである。

森林は、多様な生物を育み、水源の涵養地になるだけでなく、CO₂ の吸収の主役でもある。国土の 7 割が森林が占める森林大国の我が国にあって、森林事業の重要性は、今更言うまでもない。

ちなみに同社は、日本国土の 800 分の 1 に相当する 4.8 万 ha の社有林を保有する。海外でもインドネシア等で 23.8 万 ha を保有。

米豪での戸建て住宅事業のほか、インドネシアでの〃熱帯泥炭地、での再活性化事業への取組みは、地球環境上意義深い。

日本の森林を元気にするには、我々がもっと気（木）を使う必要がある。住宅、非住宅にかかわらず、国内材の利用率は 50% に達していない。

はなしは変わるが、万博終了後の世界最大の木造建築物「大屋根リング」は、「太陽の塔」と同様に残すべき価値があると思うが？

講師：光吉 敏郎先生（住友林業株式会社 代表取締役 執行役員社長）

- 18：00～19：00 交流会 ビールと軽いつまみで情報交換タイム

[今後の SATOU フォーラムの予定] 第 50 回 2025 年 9 月 9 日（火） 演題・講師未定



東京駅八重洲中央口徒歩4分
 (東京メトロ銀座線京橋7番出口徒歩3分)
 八重洲地下街24番出口出て
 すぐ右側のビル4階です

【光吉 敏郎（みつよし・としろう）先生 略歴】

昭和37（1962）年5月23日 生

【最終学歴】

昭和60（1985）年3月 早稲田大学 教育学部 英語英文学科 卒

【略 歴】

昭和60（1985）年4 月 住友林業株式会社 入社

平成 4（1992）年1 月 シアトル出張所勤務

平成 8（1996）年8 月 事業開発本部 事業開発部勤務

平成15（2003）年4 月 ニュージーランド住友林業(株)勤務

平成20（2008）年4 月 海外事業本部 海外開発部長

平成22（2010）年4 月 海外事業本部 海外事業部長

平成22（2010）年6 月 執行役員 海外事業本部 海外事業部長

平成23（2011）年4 月 常務執行役員 海外事業本部長 兼 海外事業部長

平成24（2012）年4 月 常務執行役員 海外事業本部長

平成26（2014）年4 月 常務執行役員 東北復興支援 担当 住宅事業本部副本部長

平成26（2014）年6 月 取締役 常務執行役員 東北復興支援 担当 住宅事業本部副本部長

平成27（2015）年4 月 取締役 常務執行役員 住友林業ホームテック株式会社 代表取締役社長

平成29（2017）年4 月 取締役 常務執行役員 東北復興支援 担当 住宅事業本部長

平成30（2018）年4 月 取締役 専務執行役員 東北復興支援 担当 住宅・建築事業本部長

平成31（2019）年4 月 取締役 専務執行役員 住宅・建築事業本部長

令和 2（2020）年 4 月 代表取締役社長 就任（現任）



以上

◆赤信号。みんなで渡れば怖くない

豪華客船が難破、闇夜の海に乗客が放り出された。

救命ボートは一隻しかない。女性と子どもを乗せただけでいっぱいである。

男性たちは、海に漂って助けを待つしかない。

船にはイギリス人、アメリカ人、イタリア人、ドイツ人、それに日本人の男性が乗っていた。

男性たちの耳元で船長が何事かをささやくと、男性たちは我先に暗い海に次々と飛び込んでいった。

船長ははたして何を言ったのか。

イギリス人には、「ジェントルマンなら海に飛び込む」と。

アメリカ人には、「皆さんには保険がかかっている」と。

イタリア人には、「飛びこむな」と。

ドイツ人には、「船長の命令だ」と。

日本人には、「ほかの皆さんは、おそろいで飛び込んでいます」と。

日本人の集団意識は、若者の間でもまだ通用するのか？

短所は長所でもある。

以上

(文責：佐藤)

第 49 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)
よろしくお願い申し上げます。

フォーラム参加費: 6, 000 円 (税込) (交流会費 1,000 円含む)

☐ 交流会参加 ☐ 交流会不参加

お 名 前			
企 業 名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

*お忙しい中恐れ入りますが、**6月5日(木)頃まで**にご返信をお願いできればと存じます。

<事務局>

プラチナ出版株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7
京橋鈴木ビル 7F
事務局: 今井 090-1701-7108
[Tel: 03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax: 03-6264-4644
E-mail: info@pulatinum-pub.co.jp

振込先: 三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697
口座名義: 佐藤 一雄